

2019年 6月 23日

主 日 礼 拝

		①8時半	②10時半	③19時
司 会		①石井師	②白川 達男兄	③石井師
奏 楽				
祈 禱		①石井師	②村山けい子姉	③石井師
賛 美		聖歌593番 & ~Once Again~		
ヤベツの祈り				
聖 書		①使徒行伝2章41～47節		
		②ガラテヤ人への手紙2章15～21節		
特別賛美		エタニティ		
メッセージ		①「三千人教会うらおもて」大川従道牧師		
		②「キリストを信じさえすればよい」石井		
献 金		聖歌701番 ~ハレルヤ~		
祝 禱		〔献金当番：青木姉・寺		
お知らせ		【司会		
賛 美		～今までの私の人生～		

礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！
《今週のお知らせ》

1. 本日、共に礼拝をお捧げでき心より感謝します！（礼拝後の昼食はありません）
2. 今週の祈禱会：☆早天祈禱会、明日朝6時～。☆木曜午前10時半～、夜7時半～、杉田政志先生（米国オハイオ州・大和映像）。☆準備祈禱会、土曜夜8時。
3. 水曜日午前10時半～、長野市のホテル国際21にて長野ランチョンが行われます。ポーマン先生夫妻がご奉仕されます。どうぞお祈りください。

7/6(土):YCU(城下防災センター・2時) 7(日):誕生祝福式/聖書の学び会
14(日):聖餐式/執事会 25(木):WOGA 28(日):聖歌隊

一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [6/23～/30]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	エステル 7-10章	ヨブ 1-3章	4- 6章	7- 9章	10- 12章	13- 15章	16- 18章	19- 20章
新約	使徒行伝 6章	7:1 -19	7:20 -43	7:44 -60	8:1 -25	8:26 -40	9:1 -22	9:23 -43
チェック	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新	旧 新

「キリストを信じさえすればよい」

～パウロが命をかけて守ったもの～

「人が罪から救われるのは、律法を守ることによるのではなく、キリスト・イエスを信じさえすればよいということを知って、私たちはキリスト・イエスを信じたのである。それは、律法を守ろうとしても守れるものではなく、キリストを信じさえすれば、神は律法を守ったのと同じように正しいと認めてくださるからである。律法を守ろうとしても、だれ一人それを完全に守ることができる人はいないからである。」
ガラテヤ人への手紙2章16節 〔現代訳〕

先週のコンサートも大勢の皆様がお越しくださり素晴らしい時間となりました。しかも、若いこれからの世代の方々にとって「ナイトdeライト」の存在は自分たちを代弁していると感じていたのかもしれませんが。もっと多くの方々に届いていくために祈りください！

パウロがこのガラテヤ人への手紙で繰り返し、力を込めて伝えたかったのは、「キリストを信じるだけで救われる」というメッセージでした。

当時は母体となっていたユダヤ教の教えが主流でした。イエス様を通して救いの道が開かれたことはすべてのクリスチャンは信じていましたが、ユダヤ教から信仰を持った人たちにとっては、彼らが元々持っていた信仰を土台にしてキリスト教を建て上げようとしてしまっていました。もしそのことがキリスト教の土台となってしまうたら、ユダヤ教と全く関係のない外国人たちにとっては、ユダヤ教をプラスしたキリスト教を信じなければならないという状況になってしまいます。

イエス様ご自身、自分は律法（旧約聖書＝ユダヤ教）を廃棄するために来たのではなく、成就するために来たのだとおっしゃいました。しかし、それはユダヤ教がプラスされたキリスト教になるわけではなく、旧約聖書から始められた神様の救いの計画が、イエス様を通して実現したという意味であり、ユダヤ教そのものが救いなのではなく、キリストによって初めてその救いが完成したという意味なのです。

私たちにとても自分自身が信じ貫いてきた信仰のあり方をその根本から変えるということは中々難しいことであると思います。でも実は、旧約聖書時代も、元々あった神様の恵みの世界、救いの世界が、いつの間にかゆがんでしまって、間違った価値観で救いを受け止めるようになってしまった歴史がありました。そして、その時々には神様は預言者たちを遣わされて、その信仰の姿勢を修正しようとされました。その度ごとに預言者たちは迫害されながら、その時代の人々に語り続けました。イエス様の時代、聖霊様が注がれたペンテコステ以来、すでに約2000年の月日が経過していますが、この2000年間にも主の器たちを通してキリスト教会は刷新され続けてきました。今の時代も、聖書の真理、神様の御心を正しく受け止める必要があります。今も語られている神様の御言葉に現代に生きる私たちはきちんと耳を傾け、変えられ続けなければならないのです。